

「ほっとルーム」だより



第96号 平成28年8月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

串木野小学校・照島小学校で
「おあしす」を開設しました。



7月6日(水)に串木野小学校、7月7日(木)に照島小学校で「おあしす」を開設しました。

くつろぎながら、子どもさんへの接し方や気になる事、頑張り等について、お話をお聴きしました。



串小「おあしす」

9月は、市来小学校と生福小学校で「おあしす」を開設します。お気軽にお立ち寄りください。

市来小学校

- 開設予定日時
9月7日(水)
(午後1時30分～4時)
- 場所 3階相談室

生福小学校

- 開設予定日時
9月16日(金)
(午後1時30分～4時)
- 場所 家庭科室



照小「おあしす」

子育てアドバイス

子どもが頑張るには、「愛の充電」が必要!



子どもの大きなエネルギー源は、
「自分は親に愛されている」
「自分には居場所がある」
と子どもが感じることです。

愛の充電不足のサイン

例えば

- ・急に乱暴になった
- ・弱い友だちをいじめるようになった
- ・近頃、意地悪をするようになった
- ・攻撃的・挑戦的な態度をとる
- ・何でも無いことでもすぐ泣く
- ・(卒業したはずの) 幼児語でしゃべる
- ・(卒業したはずの) 指しゃぶりをする
- ・母親に異常に甘える

(注) 子どもたちの行動の全てに、あてはまるものではありません。

ふれあいは、時間ではなく、「質の高さ」と「タイミング」です。

- ・朝、起きて、親子が顔を合わす瞬間
- ・子どもが帰宅して、「ただいま」と声をかける瞬間



- ・話を聴いてあげましょう。
- ・頑張りをはめてあげましょう。
- ・抱きしめてあげましょう。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム: 教育委員会 社会教育課内
TEL:21-5130 FAX:36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

家庭教育について提言をいただきました。

三井串木野鉱山株式会社社長 五味 篤



私共の3人の子ども達は、ようやく全員が結婚して、それぞれが独立して生活しています。何かと忙しい中でも出来るだけ、時間と空間を子ども達と共有し、家族の思い出をたくさん作るように心掛けました。

例えば、小さな時期には、時々、庭や部屋にテントを張って、子どもたちと一緒に寝袋で寝たり、小鳥の巣箱を作ったりしました。サンタクロースやトゥースフェアリー(抜けた乳歯を枕元に置いておくと翌朝までに硬貨に替えてくれる妖精)をなるべく長く信じさせる努力もしました。

成長してからは、夏休みの自由研究を共に考えたり、できるだけ家族揃って旅行に出かけて博物館や工場見学など社会学習の機会をつくるように工夫しました。

子どもたちは、それぞれに家庭の思い出を胸に、今度は、自分たちの家庭の思い出作りに励むことになるでしょう。

集いの場は、子育て情報交換の場にも！ (羽島小学校家庭教育学級)

羽島小学校家庭教育学級「菜の花学級」は、7月9日(土)に、小・中合同の家庭教育学級を開催しました。講師に鹿児島大学の井村准教授をお招きし、「防災について」学習するとともに、緊急引き渡し訓練も行いました。防災についての知識や避難の仕方、地域との関わり等、具体的な行動について得るものの多い一時でした。



学級生の声

・ 今日の話聞いて、地震や津波のために、もう一度、家族で話し合わないといけないと思いました。勉強になりました。

読書は心の栄養！



「本は心の扉を開く」など、読書の大切さが言われています。市の社会教育課でも、6ヶ月健診時に、「ブックスタート」として、親子読書のお勧めや、市の図書館の使い方などの説明とともに、絵本と手提げ袋を贈り、大型絵本の読み聞かせも行いました。

ご家庭でも、子どもさんと話し合っ、テレビやゲームをお休みさせ、親子で一緒に読書をしたり、読み聞かせをしてあげるなど、子どもが本に親しむ環境を作ってみてはいかがでしょうか。



ブックスタート

お勧めの本です。親子で読んでみませんか。

【低学年用】



「おこだでませんように」

作：くすのき
しげのり

【中学年用】



「平和ってすてきだね」

詩：安里 有生
画：長谷川 義史

【高学年用】



「ロバのシルベスターと
まほうの小石」

作：ウィリアム
・スタイグ